

競技注意事項

「参加チームへの連絡」を確認し、感染防止対策を徹底すること。

本大会は、「宮城県中学校体育連盟 大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」に則って競技会を運営する。厳守出来ないチーム、競技者は大会の出場を認めない。また、所属する学校より休校など活動の自粛を求められている場合は出場することが出来ない。

自然災害や新型コロナウイルス感染状況等によっては、大会中であっても中止、中断する場合がある。

1. 競技規則について

本大会は、2022年 公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会要項及び競技注意事項、申し合わせ事項によって実施する。

2. 練習について

練習は係員の指示により実施する。

原則として、その日に競技のある選手のみとする。

- (1) 本トラックでの練習は競技開始30分前まで開放するが、出場選手のみとする。
フィールド競技の各ピットは、競技に支障がない範囲で、開放するが競技役員の指示に従って使用すること。
- (2) 直線走路および、バックストレート外側を常時開放する。直線競技実施時には、バックストレートの一部を開放する。
雨天走路は、荒天時以外は開放しない。荒天時に開放する場合は、アナウンスで連絡する。ただし、走幅跳の競技中の動きづくり等は可とする。
- (3) 投てき競技種目の練習は、投てきピットのみとし、投てきピット以外での練習は、メディシンボール等も含め禁止とする。

※フィールド競技は、招集完了時間を早めに設定し、ピットでの練習時間を設ける。

※競技注意事項を厳守し、事故の無いように行うこと。

3. 招集及び入退場について

招集所は北器具庫および第2ゲート内（100mスタート後方）に設置する。

- (1) 招集時刻は競技開始時刻を基準として下記の通りとする。

トラック競技は、競技開始20分前招集完了。

フィールド競技は以下のとおりとする。

走幅跳予選 競技開始60分前招集完了。

砲丸投予選 競技開始30分前招集完了。

走幅跳決勝・砲丸投決勝および混成競技 競技開始30分前招集完了。

走高跳決勝 競技開始45分前招集完了

棒高跳 競技開始60分前現地招集とする。

リレーのオーダー用紙は、競技開始60分前までに競技者係に提出すること。

混成競技はすべての種目、招集所で招集を行う。

- (2) 招集手順

①招集開始時刻から完了時刻までの間に招集所で、競技役員にアスリートビブスとスパイク（シューズ）、衣類及び競技場内への持ち込み物品等の確認を受ける。
代理人による最終点呼は認めない。（800m以上のトラック種目は、腰No標識を受け取る。）

②最終点呼後、各自でトラックのスタート地点、フィールドはピットに移動する。

- (3) 招集の注意事項

①出場すべき競技種目を欠場する場合は、招集完了時刻前までに招集所の競技者係に届けを提出する。

②招集完了時刻に遅れたり、競技者係からのチェックを受けなかった場合、欠場したものととして処理される。

- (4) 入退場は係員の指示に従う。競技が終了した競技者は、係員から指示されたゲートより競技場外へ退場する。

4. アスリートビブスについて

各競技者は、プログラムに記載された番号と同じ番号のアスリートビブス（24 cm × 20 cm 以内）を、ユニフォームの胸部と背部につける。男子は黒字、女子は赤字とする。

- (1) 跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部どちらか片方でもよい。
(2) 800 m 以上の競技に出場する競技者はシールタイプの腰ナンバー標識をパンツの右側後方につける。腰ナンバー標識は招集所で配布し、回収はしない。

5. 競技運営について

本大会は下記の主な留意事項に基づいて運営する。

- (1) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。また、地震・雷雨等の自然災害やJアラート発動の際は、競技を中断し安全が確認された後に再開する。
- (2) トラック及びフィールド内にはその競技を行う競技者並びに役員（審判および該当補助員）以外は立ち入ることはできない。フィールド競技はコーチングエリアを設ける。競技者とコーチがコミュニケーションをとる場合のみとし、エリア内に常駐しないこと。
- (3) 競技者がカセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ちこんだり使用したりすることはできない。(TR6.3.2) また、競技者本人が携帯もしくは着用して使用する心拍計、速度・距離計、ストライドセンサー、その他の類似の機器を使用する場合は、他者との通信が使用不可能なものに限る。(TR6.4.4)
- (4) トラック競技の着順及び計時は原則として写真判定で行う。
- (5) タイムにより次のラウンドの出場者を決める場合、写真判定主任が同記録者の写真を拡大して 0.001 秒単位の時間を判定して進出者を決める。 それでも決められない場合は当該競技者の抽選とする。(TR21.5)
- (6) セパレートレーンで行うトラック競技では、競技者は安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走り、他の競技者の妨害をしない。
- (7) 男子 3000 m におけるスタートは2グループに分けて行う。また、天候により給水を行う。
- (8) リレー競技におけるチームの編成は次の通りである。(TR24.10, TR24.11)
- ① リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいてもその競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。（ただし、リレー2種目を兼ねることはできない。また、チーム間にまたがるメンバー変更もできない。）
 - ② どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。
 - ③ 最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り他の競技者と交代することができる。
 - ④ 交代とは一度出場した競技者が他の競技者と代わることであり、最初のラウンドにおいてリレーに申し込んでいない競技者が出場する場合は交代とはみなさない。
- (9) リレー競技においてはチームの出場者は、同一ユニフォームを着用する。（ランパン、スッパツ、メーカーロゴの違いは、同系色であれば許容範囲とする。）
- (10) 4 × 100 m R 競技における第2、第3、第4走者は自チームで用意する最大 50 mm × 400 mm の粘着テープをマーカーとして1ヶ所使用することができる。尚、競技終了後、使用したマーカーは責任をもって取り除くこと。(TR24.4)
- (11) フィールド競技における競技場内での練習は審判員の指示により行う。
- (12) 走幅跳、棒高跳に出場する競技者は助走路の外側に主催者の準備したマーカーを2個までおくことができる。
- (13) 棒高跳びに出場する競技者は支柱を自分の希望する位置に移動してもよい。
- (14) 混成競技では1種目でもスタートしなかったか、また、1回も試技をしなかったときは、それ以降の種目に参加することは許されず、競技を欠場したものとみな

される。

- (15) 各レースで不正スタートは、混成競技を除き、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。混成競技は、不正スタートを2回目以降に行った選手が失格となる。スタートの合図については英語で行う。

※スタート時の不適切行為に関しては審判長によって警告「イエローカード」を与えられることがある。2枚の「イエローカード」の提示を受けた競技者には「レッドカード」が提示され、当該種目のみを失格とする。ただし、競技会からは除外しない。(TR16.7,TR16.8,TR39.8.3)

- (16) スタートリストおよび競技注意事項等は Web サイトから確認すること。競技結果(記録)は、Web サイトから確認すること。なお、次ラウンドへの進出者一覧は、正面玄関前と招集所付近に掲示予定。

6. 走高跳、走幅跳、砲丸投予選におけるパスライン

	走幅跳	砲丸投
男子	5 m 7 5	1 0 m 0 0
女子	4 m 7 0	9 m 7 0

上記の種目で予選通過パスラインを超えた者が12名に満たなかった場合、決勝進出者は予選成績により追加補充する。予選12位と同成績の者までが決勝に進出するものとする。(TR25.22, TR26.8)

7. 走高跳、棒高跳におけるバーの上げ方について

種 目	性別	競 技	練 習
走高跳 決勝	男	1m55 - 60 - 65 - 70 - 75 - 80 - 85 (88-91-94-97...) 以後 3 cm きざみ	1m50 1m65
	女	1m30 - 35 - 40 - 45 - 50 - 55 - 60 (63-66-69-72...) 以後 3 cm きざみ	1m25 1m40
四種競技 走高跳	男	1m45 - 50 - 55 - 60 以後 3 cm きざみ (63-66-69-72...)	1m40 1m55
	女	1m20 - 25 - 30 - 35 以後 3 cm きざみ (38-41-44-47...)	1m15 1m30
棒高跳	男	2m50 - 65 - 80 以後 10 cm きざみ (90-3m00-10-20...)	2m40 3m30

- (1) 天候その他の関係で変更することがある。
- (2) 第1位を決めるためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cm刻みとする。
- (3) 走高跳、棒高跳の練習の高さは、希望により2段階で行う。
- (4) 競技場設置の滑り止め(炭酸マグネシウム等)は、感染防止のため共用しないので、必要な競技者は、各自で準備すること。

8. スパイク(シューズ)等の制限

- (1) WA承認リストにあるシューズを使用していることを前提に招集所や受付にてチェックは不要となる。ただし、審判や審判長の権限により求められた場合はシューズをチェックする。TR5.13.3(国内 TR5.2)承認リストにない場合は事前申請が必要であるが、中学生の大会では事前申請は不要。
- (2) 本競技場におけるスパイクピンの数は11本以内とする。また、スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳については12mm以内とし先端の直径は4mm以内でなければならない。(TR5.3,TR5.4,TR5.5,TR5.6)
- (3) フィールド競技用シューズの TR5.5 適応除外措置について
市販されているフィールド競技用のシューズについては適応除外となる。

9. 抗議について(TR8)

- (1) 競技の結果または行為に関する抗議は、その種目の正式発表後30分以内に監督が直接審判長に口頭で申し出なければならない。

- (2) 次のラウンドが行われる競技種目ではその結果が正式に通告されてから15分以内に申し出なければならない。
- (3) 裁定に不服の場合は委託金(1万円)を添え、総務員を通じてジュリーに文書で申し出る。なお、ジュリーの裁定が最終決定となる。

10. 東北大会・全国大会出場について

本大会4位まで入賞した選手は、東北大会出場権を得る。大会期間中に雨天走路で出場手続きを行うこと。辞退者が出た場合は繰り上げて出場権を与える。4位に同順位がいた場合は、東北大会出場決定戦を行う。(トラックは0.001秒まで判定)

全国大会出場選手(参加標準記録を突破した選手)は、申込方法の説明を聞き、その手続きを進める。(正式な申込手続きは全国大会出場者練習会にてお願いします。)

11. 表彰について

各種目の8位まで賞状を授与する。決勝終了後、直ちに入賞者は表彰者控場所(雨天走路中央)に賞状を受け取りに来ること。(ユニフォームは不可。ジャージ等着用)
※感染防止対策として、表彰式は行わないが、表彰台を用いて賞状を授与する。

12. その他

- (1) 救護本部は雨天走路内の医務室に設置する。応急処置は行うが、以後の責任は負わない。
- (2) 商標について
商標などの規定については、「競技会における広告及び展示物に関する規定」を遵守すること。これに違反した場合は、主催者で処理する。
- (3) 応援・観戦について
 - ① 声を出しての応援は一切禁止とする。スタンドで観戦する際は、ソーシャルディスタンスを意識すること。
 - ② 通路での観戦は禁止とする。また、競技の進行の妨げにならないよう注意すること。
- (4) 応援横幕・のぼり旗の設置について
 - ① メインスタンド・バックスタンド・サイドスタンド等への設置は禁止する。
 - ② 待機場所等においても、設置は禁止する。
- (5) 室内走路及び通路に敷物を利用し、場所を確保して待機場所として利用することを禁止する。また、更衣室内に常駐することは禁止する。
- (6) 各校の待機場所として2階コンコースを利用する場合は、毎日抽選とし、譲り合って使用すること。(荷物は、毎日撤去。)また、芝スタンドは、1日目の朝に抽選を行い抽選順に入場する。(2日目の場所取りは可。ただし、芝を覆わないこと。)待機場所では、「ソーシャルディスタンス」を十分に確保し、「3密」を避けるよう、お互いに協力すること。
- (7) チーム代表者は、当日来場する生徒の「体調管理チェックフォーム」への送信と、「紙媒体提出者等」の確認のため、「学校同行者一覧表」を作成し大会期間中毎日受付に提出すること。確認ができない場合は、参加を認めない。また、帰宅時には、待機場所として使用した場所を報告すること。
- (8) ゴミは原則として各校で持ち帰ること。
- (9) 置き引き、盗難等の発生する恐れがあるので各自持ち物や貴重品の管理に十分注意する。
- (10) 本部は雨天走路中央のダックアウトに設置する。不明な点は、大会本部に問い合わせること。